

かわら版 ”とちぎのまちの駅”

第36号 2005.12.15

発行人 まちの駅ネットワークとちぎ(ま・ね・とち)

吉田 恵子

§ まちの駅全国大会のご報告 その2 §

10月29～30日、新潟県見附市で開催された「第7回まちの駅全国大会」。
2日目は、4つの会場に分かれて、分科会が行われました。

【分科会1 にわとりが先かたまごが先か ～行政・市民が協働していくために～】

話題提供者：見附市「きれいなまちをつくる会」

長岡市「NPO住民安全ネットワークジャパン」

長岡市「NPOながおか生活情報交流ねっと」

みなさん活動を始めた当初は、行政の理解が得られず、何かと苦労があったようですが、同じ土俵にあがって、話し合いを続けながら、信頼関係を築いていったとのこと。

警察から提供してもらった不審者情報を、希望する父兄に携帯電話で伝える活動を行っている「住民安全ネットワークジャパン」。NPOが警察から直接情報を入手しているのは、全国でも先進事例だそうです。

【分科会2 応援・協力してくれる人、ファンはどうやって増やすの？】

話題提供者：見附市「めだかの学校」

長岡市「みしまふるさと塾」

榛名町「榛名まちづくりネット」

ファンを増やすには、まず活動を知ってもらうことが大事。

まちの駅も大きな課題のひとつは「認知度アップ」です。

みなさんも、良い知恵があったら、教えてください。

【分科会3 活動するにもお金に余裕がない！ さあ何を活かす？】

話題提供者：見附市「今町まちづくり会」

長岡市「NPOにいがたエジソン学園」

新潟市「まちの駅 いろりはうす」

集客のためにも、「認知度アップ」は必要。

まちの駅も「これぞ便」のしくみがもっとうまく回ればよいのですが…。

まちの駅の「これぞ！」という品を、他のまちの駅で販売してもらおう「これぞ便」。

こちらについても、みなさまからのお知恵を、お待ちしております。

【分科会4 「もてなし研修」】

元・JALのシュワーズさんが講師となり、挨拶のしかた、名刺交換のしかたなどを学んだ「分科会4」。

3分間スピーチの模様をビデオ撮影し、自分で自分のしゃべり方や笑顔を確認したとか。とっても勉強になったそうです。

ご希望があれば、講師を呼んで(ただし有料)研修会を行うことができます！

どの分科会も、簡単には答えが出ませんでした。同じ悩みを持つ者同士、話をし、アイデアを出しあうことで、みんな来た時より、元気になって帰路についたのであります。